

第6次上尾市地域福祉活動計画における社協支部の取組（計画冊子 P.92～99）

達成目標（上尾市社会福祉協議会が住民とともに目指す姿）

**隣近所や自治会などの生活エリア（範囲）において、
住民同士のつながりが豊かで、福祉力（互助力）が高い地域**

取り組んでいくこと：身近な範囲で誰もががつながり、支え合う地域づくり

取り組んでいく方法：社協支部が主体となって自治会等と連携し、福祉活動の推進を支援する

社協支部の 役割	1. 調査・研究 2. 情報把握・情報共有 3. 研修・講座の開催 4. 広報及び啓発 5. 事業立ち上げ支援（補完的機能含む） 6. 支部拠点の開設（福祉相談・地域連絡所）
令和6年度の 主な取組状況	<p>令和6年度の一年間の計画進捗における具体的な取り組みについて、地域の活動に目を向けると、「活動者の高齢化」や「担い手不足」など継続した課題も多くある状況ではありますが、社協支部を中心として「活発に活動が実施された年」となりました。「身近な範囲で誰もががつながり、支え合う地域づくり」を現計画の柱とし、社協13支部や各自治会等での「つどいの場」「見守り」「助け合い」などの活動が実施されることで住民同士の“顔が見える関係”が重要であることを再確認することができました。</p> <p>研修・講座の開催</p> <p>住民同士が顔を合わせる機会を活発化させるとともに、地域住民の声を拾う貴重な場とする目的の他、「社協」「福祉」を身近に感じてもらうことを目標とし住民を対象とした学習会・講座を継続開催した。社協関係者だけでなく、一般住民の方々にとって関心が高いテーマで参加を促し、社協支部の7割が実施した。民生委員や同じ地区に住む仲間からの誘いなどで初めて参加する方もあり、講座の継続を望む声も多数あった。</p> <p>実施支部：上尾東、上尾西、上尾南、平方、大谷、原市団地、尾山台団地、西上尾第一団地、西上尾第二団地</p> <p>情報把握・情報共有</p> <p>地域関係者が集まり、地域の実情や課題などに触れ、話し合い、課題解決に取り組むことを目的として、「地域福祉懇談会」を自治会単位での開催の方向で、各支部において実施した。しかしながら、社協支部の活動は全地区（自治会）が同じ方向性をもって取り組めるような目標を掲げている為、支部圏域において自治会ごとに活動の差が生じてしまっている。また、今年度は、多くの地域が開催したが報告書から見ると参加者同士の懇談（話し合い）ではなく講座や勉強会として実施しているところもあり、本来の目的である「住民の声をひろう」という視点で考えた場合、今後の地域福祉懇談会のあり方について検討していく必要がある。</p> <p>参加者総数（実施支部全体）：約1,100名</p>
令和7年度の 方針 ・ 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・社協支部の役割について共通認識するとともに、実践活動を継続する。 ・また、実践活動の内容を再確認しながら、事業の見直しも含め、支部関係者が負担増の軽減を図り、自主性・主体性をもって地域福祉の推進に取り組めるようにしていく。 <p>重点項目1 研修・講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての支部において、住民の関心ごと（健康等）に対して講座を開催し、参加者一人ひとりが学ぶ機会とするとともに、社協活動を知っていただく場ととらえ、社協のPRをすることで、支部活動への人材発掘・育成を図る。 <p>重点項目2 支部拠点の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部拠点のPR（広報紙、SNS等） ・コーディネーターに対する支援を実施（制度や地域情報に関する研修等）